

## 1

長期透析の  
合併症

## シャント狭窄

長期透析における様々な合併症として今回は「シャント狭窄」です。

### シャント狭窄とはどんな病気？

シャントは透析を行うにあたってとても大切なものです。しかしながら生体にとっては非生理的な流れであり、シャントを閉じさせようとはたらくことが生理的なことです。シャント静脈は狭い箇所ができたり、閉鎖したりします。そうすると十分な透析ができなくなります。このような状態がシャント狭窄です。

### 原因は？

シャント狭窄の原因は、静脈弁や枝分かれ部分における乱流による静脈圧の不均衡などが関与しているといわれています。また、頻回の穿刺や穿刺ミス、血腫、長時間の圧迫なども原因と考えられます。

### こんな治療を行います

狭窄を生じ、十分な血流が得られないときには、経皮的血管形成術（PTA）を行います。この治療を行っても血流が得られないときには、手術の適応になります。

### 早期発見と予防 こんな症状があれば医療スタッフにすぐ報告を

シャントトラブルの早期発見には、日常の観察が大事です。図のようにシャントの観察を毎日行い、異常を発見すれば透析担当医に報告しましょう。

